



取付説明書

NX702W

ワイド6.8型WVGA 地上デジタルTV/DVD/SD
AVライトナビゲーション

- このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
 - 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

<お客様へのお願い>
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

<販売店様へのお願い>
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

クラリオン株式会社	ご購入年月日	年	月	日
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地 2 Clarion ホームページ http://www.clarion.com お問い合わせはお客様相談室へ	ご購入店名			
フリーダイヤル 0120-112-140 (土・日・祝・祭日を除く 9:30~12:00、13:00~17:00)	TEL.			

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けて説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

	警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

	注意しなければなら ない 「注意」の内容です。
	してはいけ ない 「禁止」の内容です。
	必ず行 な っていただく「 実行 」の内容です。

■ お取り付けの前に

	注意
	● 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付け ない 本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
	● 振動の多いところや傾きのある不安定な場所には、取り付け ない 本機が外れて、事故やケガの原因となることがあります。
	● 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところ、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付け ない 本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

	警告
	● 視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付け ない ※ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近など 交通事故やけがの原因となります。
	● エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には 絶対 に取り付け ない エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。
	● DC12V⊙アース車で使用する DC24V車(大型トラックや、寒冷地仕様ディーゼル車など)には使用できません。 火災や故障の原因となります。
	● 配線作業前に、バッテリーの⊖端子を外す 外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。
	● 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する 指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
	● ヒューズは規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する 規定容量以上のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

■ お取り付けのときの注意事項

	警告
	● 分解や改造を しない 分解、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源をとることは 絶対 におやめください。 事故、火災、感電、故障の原因となります。
	● 取り付けやアース配線に、車の保安部品※を 絶対 に使 わない ※ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット 制御不能や発火、交通事故の原因となります。
	● 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは 絶対 に しない 電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
	● エアバック装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線 しない エアバックが正常に作動しないと、万一のとき、事故やケガの原因となります。
	● 車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などに干渉や接触をさせ ない 。 パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。
	● コード類は、 高熱部 を避けて引き回す コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。
	● コード類は、 運転操作 の妨げとならないように引き回す ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
	● パーキングブレーキコードを正しく配線する 安全機能が動かず、交通事故の原因となります。

	注意
	● 小部品※は、乳幼児の手の届くところに置 かない ※クランプ・ねじ・カード 誤って、飲み込むおそれがあります。 万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
	● 必ず、付属品や指定の部品を使用する 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定されずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
	● 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する 開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
	● 取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する 火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
	● 落下させる、たたくなど強い衝撃を与 えない 故障や火災の原因となります。
	● 取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする 誤った取り付けや配線をする、事故や火災の原因となることがあります。
	● コード類は、 結線終了後 クランプや絶縁テープで 確実に 固定する コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
	● コード類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部には さみ 込まないよう に 引き回す 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
	● 取付・配線作業後は、車の電装品※の動作確認をする ※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど 正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
	● 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように 確 実に締め付ける ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

製品構成

- | | | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------------|---|
| ① 本機 (本体) | 1 | ⑩ 付属品袋 (ネジ) | 1 |
| ② GPS アンテナ (3m) | 1 | ⑪ 付属品袋 (クランプ) | 1 |
| ③ TV アンテナ&
アンテナケーブル (5m) | 2 | ⑫ 保証書 | 1 |
| ④ 電源コード (本体用) | 1 | ⑬ 取扱説明書 (ナビゲーション) | 1 |
| ⑤ ライン出力ケーブル (20cm) | 1 | ⑭ 取扱説明書 (オーディオ/ビジュアル) | 1 |
| ⑥ ライン入力ケーブル (20cm) | 1 | ⑮ 取付説明書 (本書) | 1 |
| ⑦ ビデオ出力ケーブル (20cm) | 1 | ⑯ 取付説明書 (TV アンテナ) | 1 |
| ⑧ USB ケーブル (1m) | 1 | ⑰ ガイドラベル (BT) | 1 |
| ⑨ クリーニングクロス | 1 | ⑱ mini B-CAS カード | 1 |

※⑨ TV アンテナの取付については、同梱の TV アンテナ取付説明書をご覧ください。

⑩ 付属品袋 内容一覧

1. 取付ネジ (M5x8 マシンスクリュー) 8
2. 取付ネジ (M5x8 サラ) 8

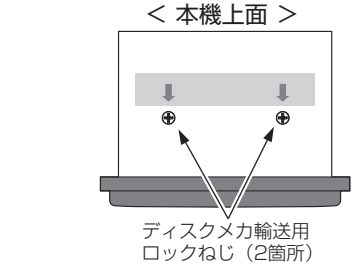
⑪ 付属品袋 内容一覧

1. エレクトロタップ 2
2. GPS アンテナ固定用両面テープ 1
3. コードホルダー 9

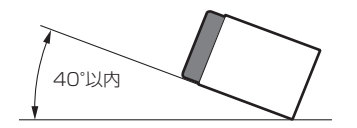
取り付けかた

■ 取付上のご注意

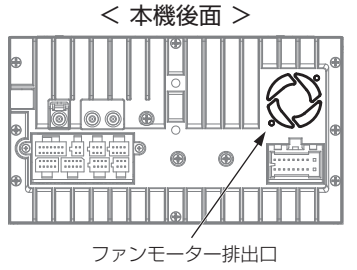
1. 本機を取り付ける前に、ディスクメカニズム
輸送用ロックねじ(本機上部:2箇所)を取り
外してください。



2. 本機は、水平面から40°以内にに取り付けてください。



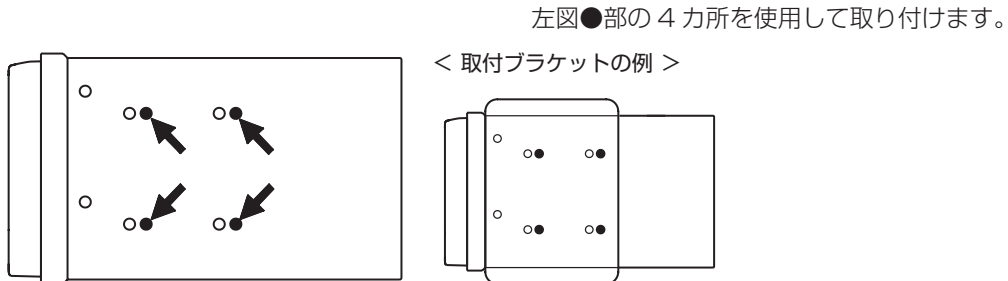
3. 本機には、本体内部の温度を上げないため、ファンモーターが付いています。ファンモーターの排出口をコードや取付ブラケット等でふさぐと、故障または火災の原因となりますので、配線等に注意して取り付けてください。



■ 取付穴について

本機には、日産車用、スバル車用、トヨタ車用、ダイハツ車用の取付穴が設けられています。車種によって多少異なりますが、●印穴のいずれかを使用して取り付けます。

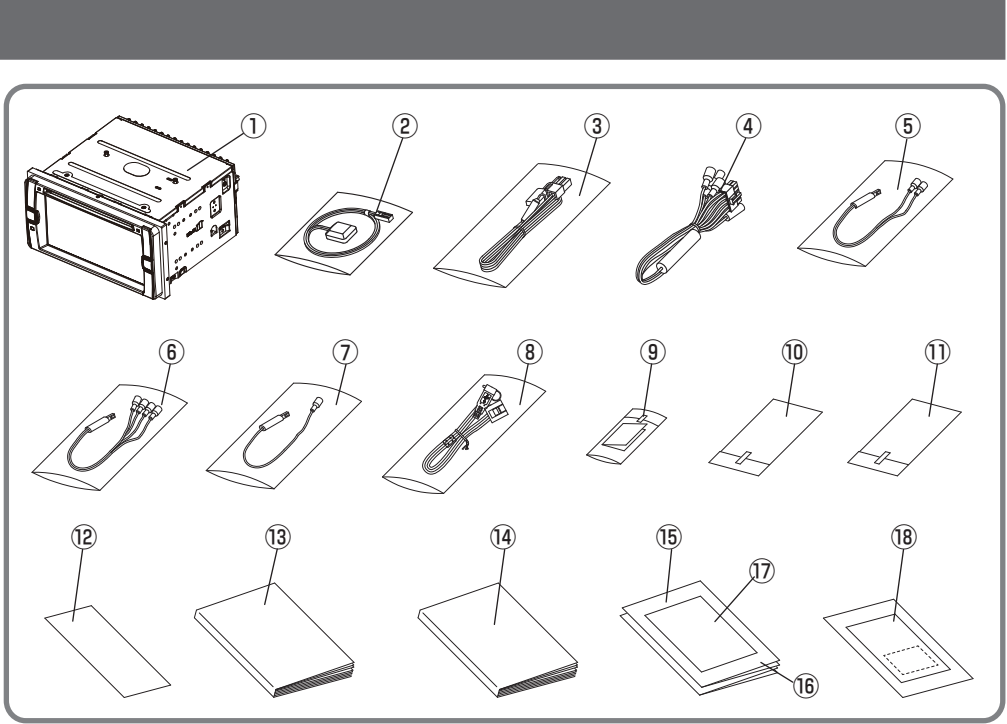
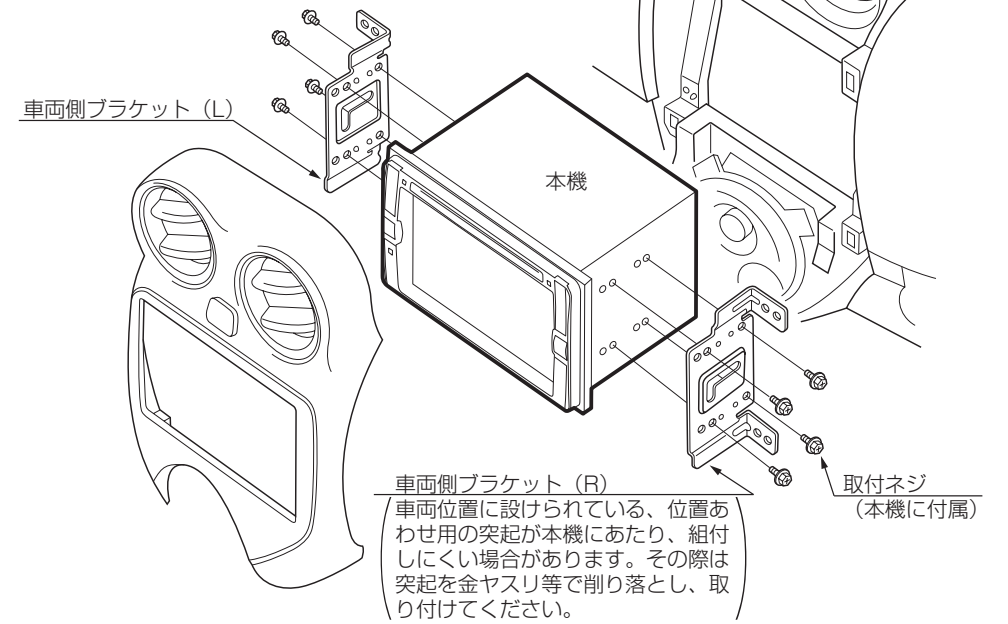
日産／スバル車の場合



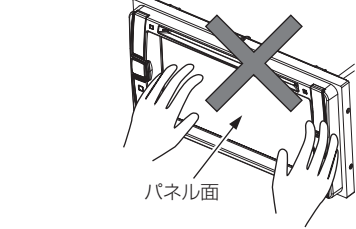
■ 取付例

ここでは、日産車、スバル車、トヨタ車、ダイハツ車への取付例を紹介しています。

日産車への取付例



4. 本機を取り付ける際、パネル面を強く押し付け**ない**でください。強く押し付けると故障の原因となります。



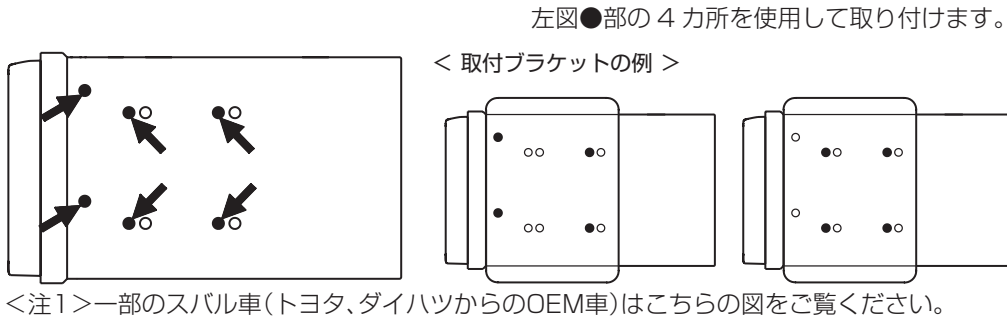
5. 車種によっては取付によるパネル部の片寄りが発生する場合があります。その場合は、ブラケットのネジ固定等での調整をしてください。

6. 車両への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取り付けすることができます。

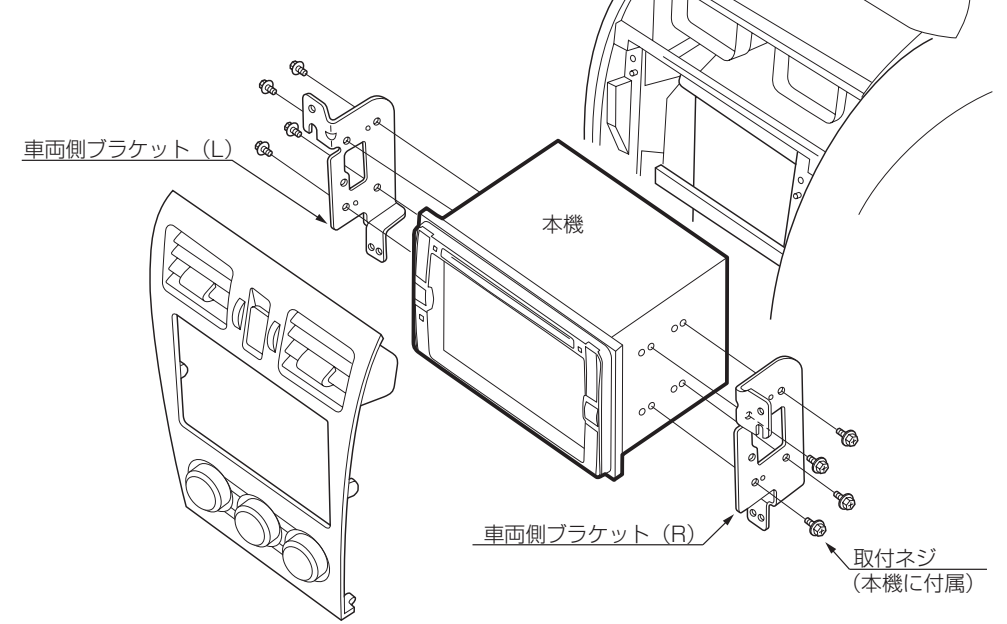
7. 車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取り付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。

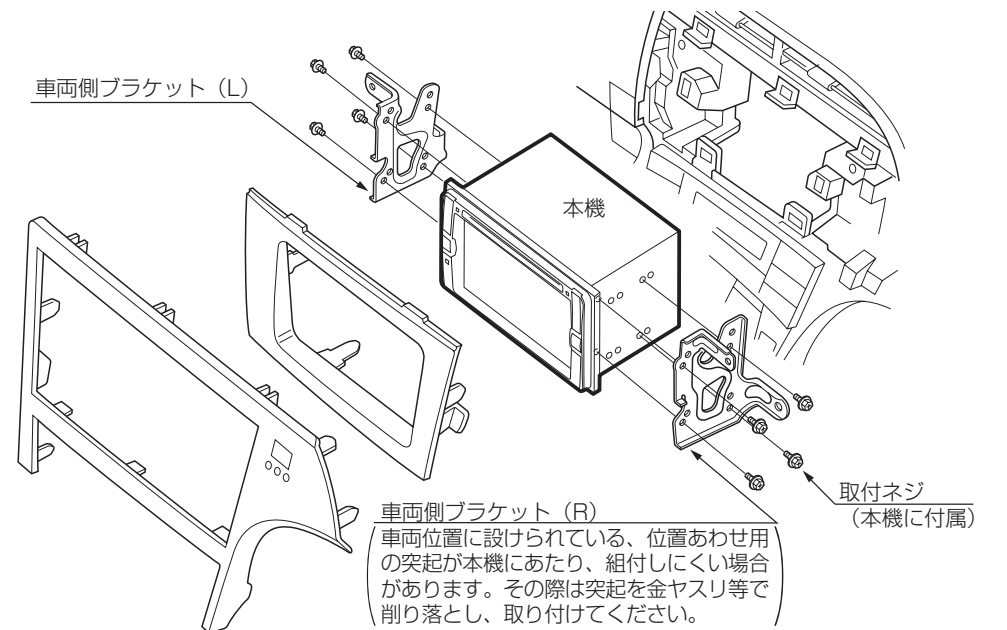
	警告
	● 取付ブラケットのネジ穴形状に合わせて、必ず付属のネジをご使用ください。 指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。

トヨタ／ダイハツ車の場合<注1>



スバル車への取付例





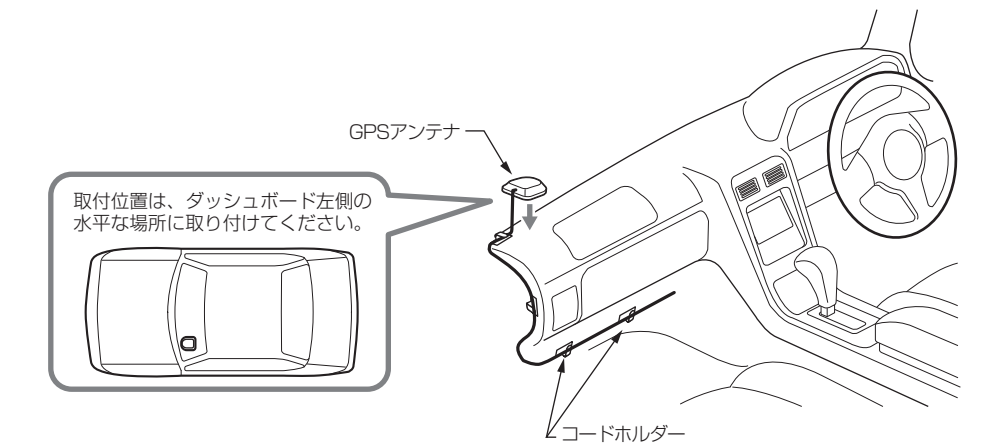
■GPS アンテナの取付け

ご注意

- GPS アンテナは、車載用機器※1、アンテナ類 ※2 から 50cm 以上離して取り付けてください。
車載用機器やアンテナ類の近くに取付けると、お互いに悪影響を与えあったり、電波が受信しにくくなったりする可能性がありますので必ずお守りください。
※1 ナビゲーション本体、ETC 車載器、ピーコンユニット、CD プレーヤーなどのカーオーディオ機器、レーダー探知器など
※2 TV アンテナ、ETC アンテナなど
- 付属の GPS アンテナは、車内専用です。車外への取り付けはできません。
- GPS アンテナは電波を受信しやすくするために、平らな面に水平に取り付けてください。
- GPS アンテナのカバーにワックスをかけたり塗装をしないでください。アンテナの受信性能が落ちます。

ダッシュボードに取り付ける場合

- 取付面の汚れをきれいにふき取る
取付面が油分等で汚れていると貼りつかなくなりますので、きれいにふき取ってください。
- GPS アンテナに両面テープを貼り付ける
GPS アンテナの裏 に、両面テープを貼り付けます。
- アンテナを取り付ける
GPS アンテナをダッシュボードの電波のさえずられにくい平らな場所に貼り付けます。
- アンテナコードを配線する
アンテナコードを、コードホルダーで固定します。



⚠ 警告

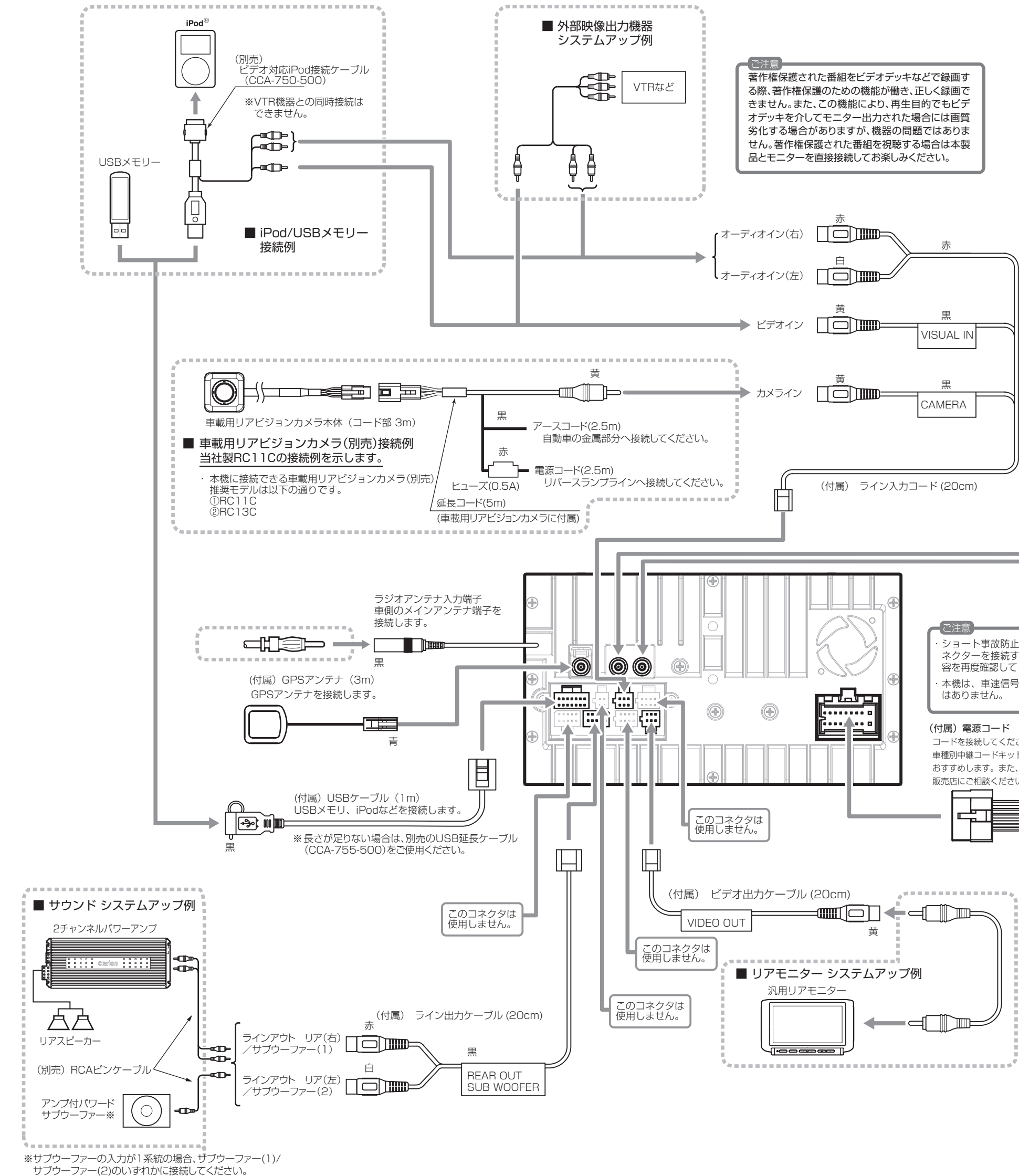
- エアバックシステムの作動に影響する位置、視界をさえぎる位置には取り付けないでください。事故の原因となります。

取り付けた後におこなってください

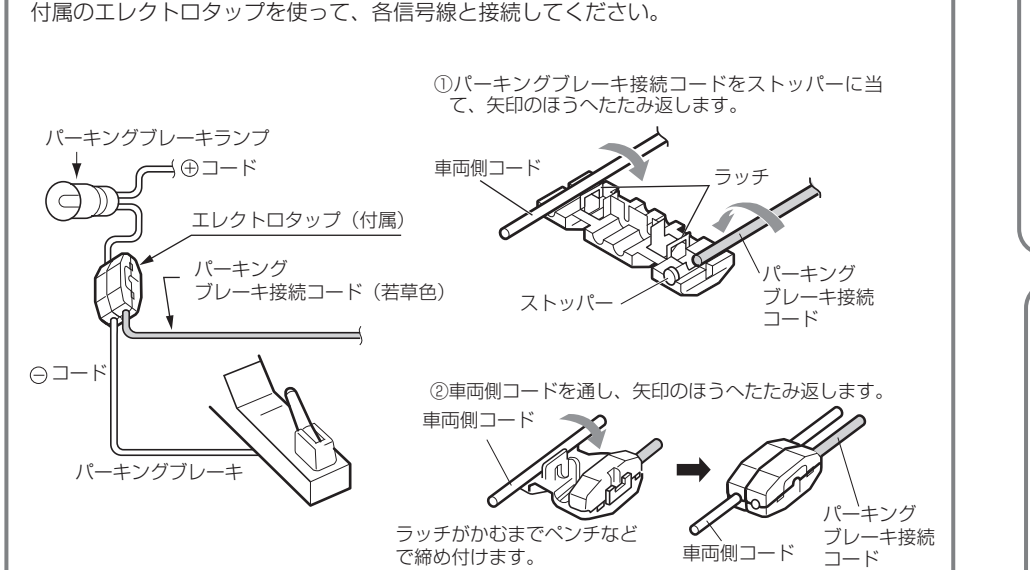
1 自車位置を調整する

はじめてナビゲーションをお使いになる場合は、自車位置マークを実際のお車の位置に合わせるために以下を行ってください。
上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない（GPS が受信できる）道で、約 5 分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

結線のしかた



■サウンド システムアップ例

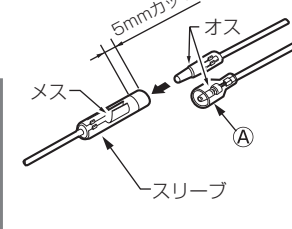


電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が下図(A)タイプの場合は、メス端子のスリーブを約 5mm カットしてください。

⚠ 注意

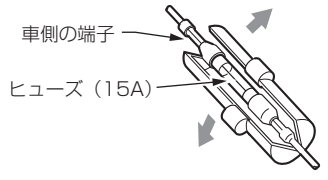
- アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。



ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1. 本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2. 結線が正しいか確認してください。
3. 確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。



⚠ 注意

車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。

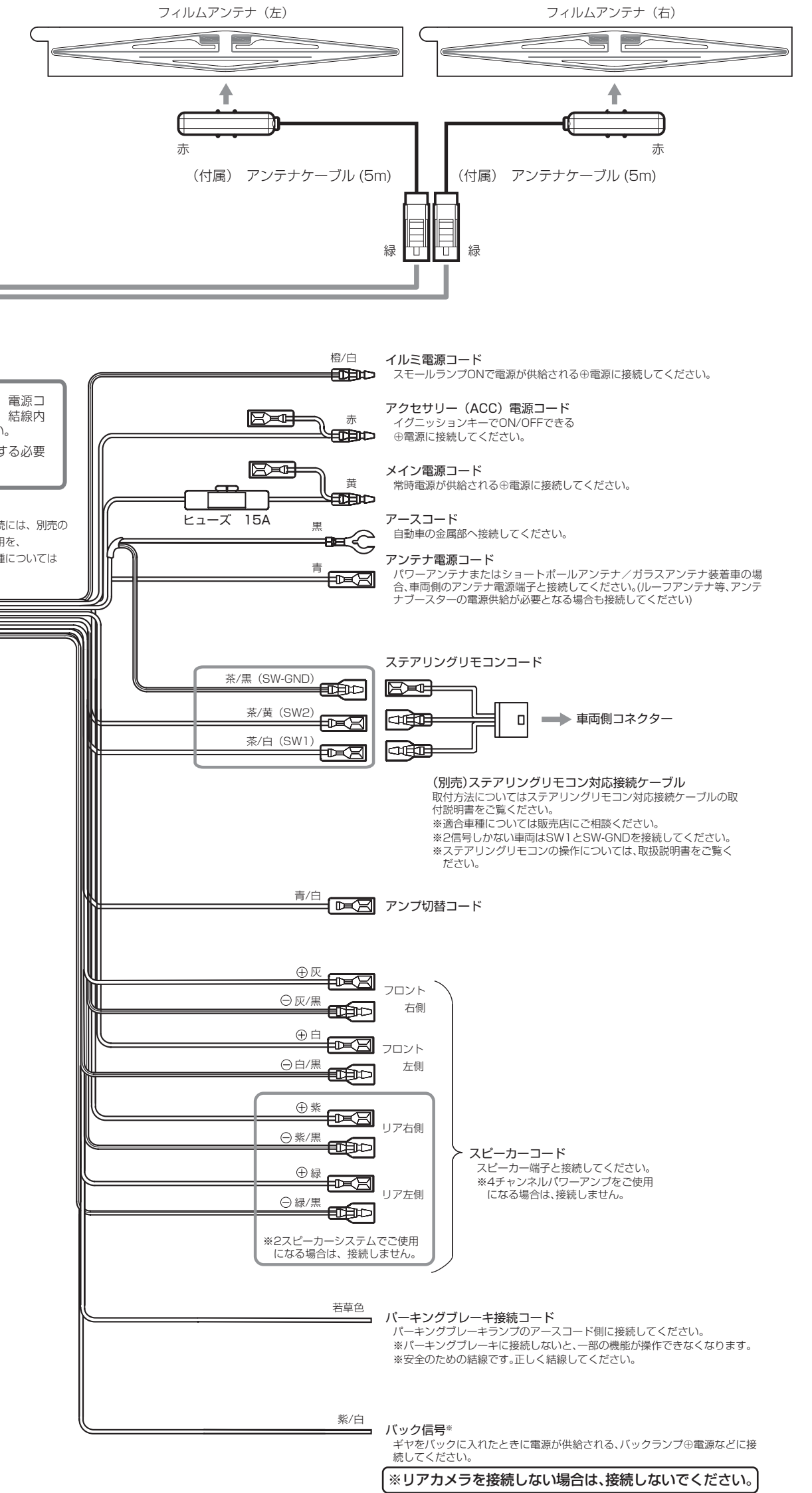
⚠ 警告

- 取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みいただき、警告・注意事項をお守りください。

- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A 以上の電流容量であることをお確かめください。15A 未満のときは、15A 以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量 20A 以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用してください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
 - ・ショート事故による感電やケガの原因となります。
 - ・また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。



TV アンテナの取り付け方法については、同梱の車載用 TV アンテナ取付説明書をご覧ください





取付説明書

車載用TVアンテナ

地上デジタルTV用フィルムタイプ

- このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- 取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
- 本説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

＜お客様へのお願い＞
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店での取り付けをおすすめします。

＜販売店様へのお願い＞
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

本品はAVライトナビゲーション専用のTVアンテナです。
TVアンテナ入力端子は専用となっています。
フィルムアンテナ、アンテナケーブル、コードホルダー等の構成部品につきましては、ナビ本体の取付説明書の製品構成をご確認ください。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地 2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>
お問い合わせはお客相談室へ
フリーダイヤル **0120-112-140**
(土・日・祝・祭日を除く 9:30~12:00、13:00~17:00)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL.

安全上のご注意 必ずお守りください

運転者や周囲の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■誤った使い方・取付け方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

	警告 「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

	注意しなければならない「注意」の内容です。
	してはいけない「禁止」の内容です。
	必ず行なっていただく「実行」の内容です。

■お取り付けになる時の注意事項

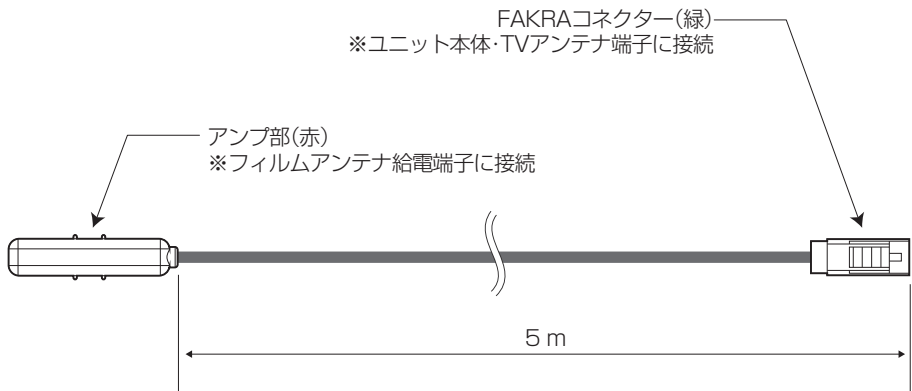
警告	
	●本アンテナは、フロントウインドゥ以外の場所には貼り付けない 本アンテナは、フロントウインドゥ専用です。リアウインドゥなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FM アンテナの上に本アンテナを貼り付けると熱線が切れたりガラスが割れたりする恐れがあります。
	●分解や改造をしない 分解、改造、コードの被覆を切って接続することは絶対におやめください。事故、火災、感電、故障の原因となります。
	●エアバック装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けや配線をしない エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ死亡事故の原因となります。

仕 様

- Low Noise Amp Gain : (MAX)15dB
- 周波数範囲 : 470 ~ 770MHz
- 出力インピーダンス : 50 Ω
- 質 量 : 約 85 g (取付説明書以外の合計)
- 電源電圧 : DC5V
- 消費電流 : 10mA

アンテナケーブル

●アンテナケーブルの各部名称とコネクター接続先は以下の通りです。

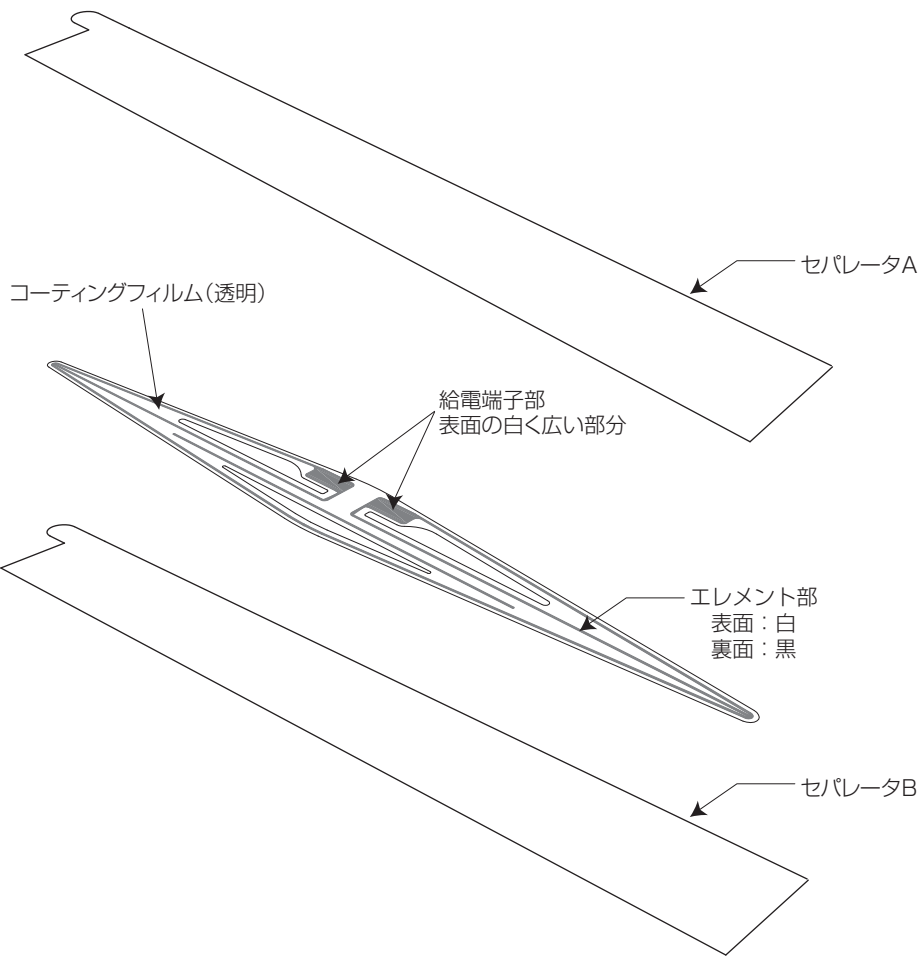


警告	
	●コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回し、まとめておく ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。
	●取付説明書にしたがって、取り付けや配線をする 火災や事故の原因となることがあります。
	●フィルムアンテナは、貼付許容範囲内に貼り付ける 保安基準に適合するように、規定にしたがって貼り付けてください。視界不良による交通事故の原因となります。

注意	
	●本取付後24 時間以内は絶対に水気(水、雨、霧、雪など)にあてたり、無理な力を加えない 両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
	●コード類は、車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にはさみこまないように引き回す 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
	●必ず、付属品や指定の部品を使用する 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
	●取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する 火災や事故の原因となります。お買い求めの販売店に依頼してください。
	●アンテナおよびケーブル類は確実に固定する 外れて事故や怪我の原因となることがあります。
	●気温が低い時は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをON にするなどしてフロントウインドゥを暖める 両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
	●貼り付ける前に、クリーナー等でフロントウインドゥの汚れを十分に落とす 汚れていると、アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。
	●天気の良い日中に取付ける 雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
	●コードホルダーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取扱いには注意してください 両面テープの接着力が低下し、外れて事故や怪我の原因となることがあります。
	●アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、柔らかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
	●お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナを引っかけないようにご注意ください。

フィルムアンテナの構成

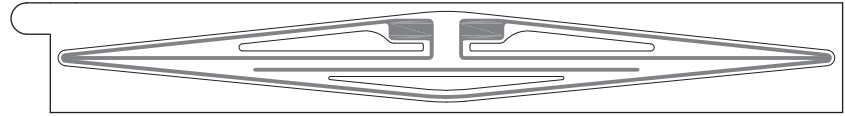
- エレメント部は、2枚のセパレーターの間に挟まれています。
- フィルムアンテナには表面と裏面とがあり、エレメント部の色で見分けられます。
 - ・表面：エレメント部の色が白
 - ・裏面：エレメント部の色が黒
- 給電端子部は、エレメント表面の白く広い部分です。



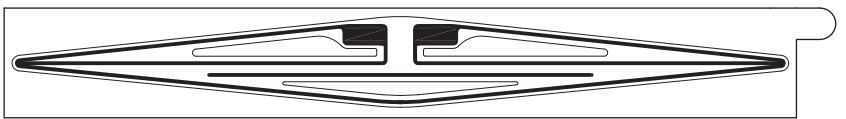
フィルムアンテナの貼り付け方向

- フィルムアンテナには、貼り付け方向がありますのでご注意ください。
 - ・車内側：エレメント部の色が白で表面になります。
 - ・フロントガラス側：エレメント部の色が黒で裏面になります。
- 貼り付け手順 3 にしがたい正しく貼り付けてください。

車内側：エレメント部が白（表面）



フロントガラス側：エレメント部黒（裏面）



準備するもの

- アンテナ・アンテナケーブルを含め次のものを用意してください。
 - ・フィルムアンテナ（ユニット本体に付属）.....2 枚
 - ・アンテナケーブル（ユニット本体に付属）.....2 本
 - ・マスキングテープ（市販品）
 - ・ハサミ（市販品）
 - ・やわらかい布など
 - ・セロハンテープ（市販品）

取り付けについて

- ご注意**
 - 車種によって、取り付けられない場合があります。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのディーラーにお問い合わせください。
 - 車種によっては、フロントビラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントビラーにエアバックが装着されている車両は、フロントビラーを取り外さないでください。
 - アンテナを接続する機器の取付説明書も併せてご覧ください。

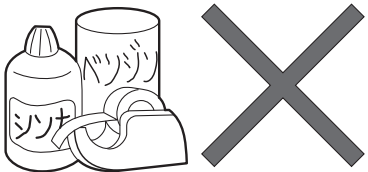
貼付位置について

- ご注意**
 - 左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。（左右逆に貼り付けないでください。）
 - アンテナは、フロントウインドゥの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けしないでください。
 - アンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
 - アンテナは、ETC 受光部、他の TV アンテナなどから 20mm 以上離して貼り付けてください。
 - フィルムアンテナのアンプ部は、セラミックライン内に貼り付けしないでください。ショートなど、故障の原因となります。

警告	
●フィルムアンテナは、フロントウインドゥの「貼付許容範囲内」に貼り付けてください。視界不良による交通事故の原因となります。	
・本フィルムアンテナはフロントウインドゥ専用です。それ以外の場所(リアウインドゥなど) には貼り付けしないでください。	
・保安基準※に適合させるために、本書の「貼付位置について」および「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。	
※ 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 6 号に対する、平成 15 年 9 月 26 日付の運輸省（現、国土交通省）令第 95 号をいいます。	

お手入について

- アンテナ貼付直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹きかけたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。
時間経過後にアンテナを直接拭く際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き傷がつかないようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を強くしぼり、軽く拭いてください。
- 柔らかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナを引っかけないようにご注意ください。また、アンプ部に水滴等水分がかからないようにしてください。
- 一度貼り付けたアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。



貼り付ける前に

1 フロントウインドウの汚れを落とす

- ① フロントウインドウ（内側）のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、クリーナー等で拭いて十分に汚れを落として乾かしてください。
 - 貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かない恐れがあります。フィルムアンテナを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
 - フィルムアンテナを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナも暖めてください。

貼り付け手順

2 フィルムアンテナの貼付位置（左右2箇所）を決める

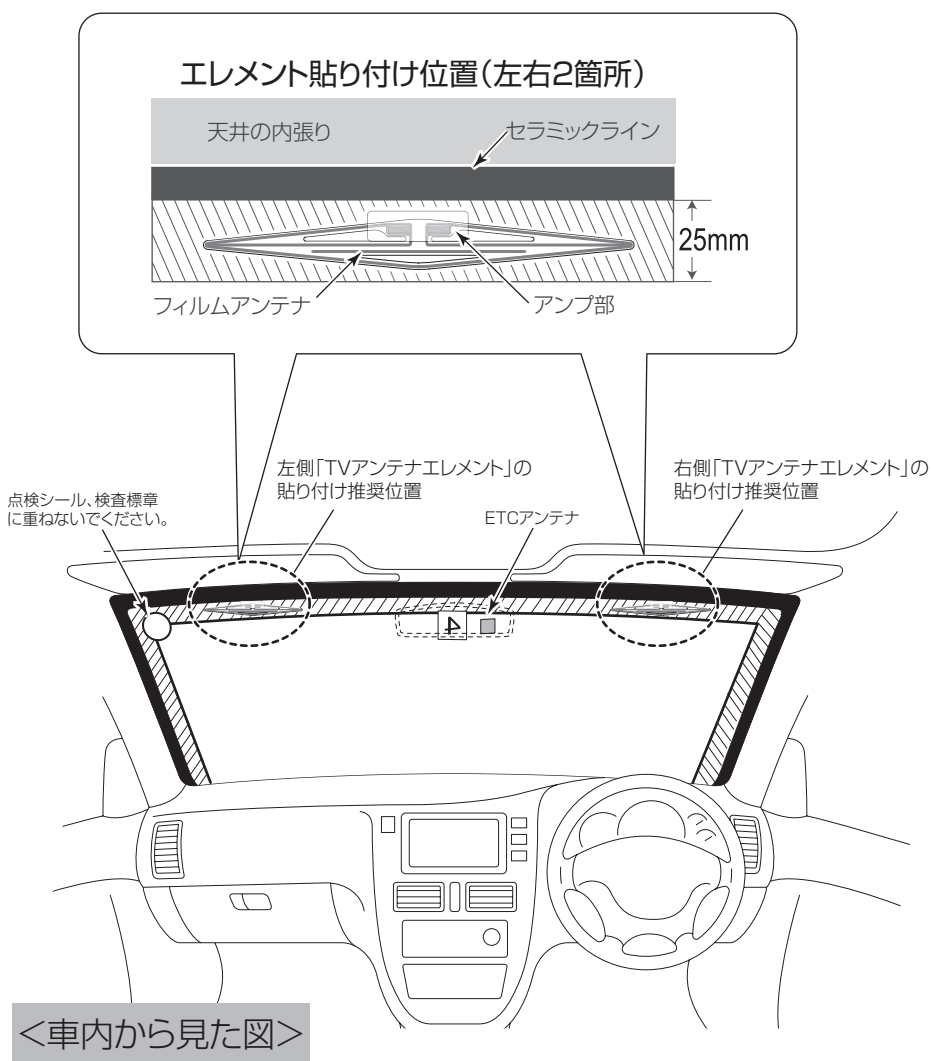
- ① フィルムアンテナの貼り付け位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。
- ② セロハンテープなどでフィルムアンテナを仮固定し、車内の内張り（フロントピラーなど）に当たらないことを確認してください。
- ③ ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

ご注意

- ・フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。

■ 貼付許容範囲

- フィルムアンテナ、およびアンブ部は、セラミックライン^{*1}上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内（部^{*2}）に貼り付けてください。
 - 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
- ※1:フロントウインドウ端の黒い部分、および黒いドット(点々のこと)部分。
※2:セラミックラインより内側に25mm以内の範囲。



ご注意

- ・ ETC アンテナ / 他の TV アンテナなどから 20mm 以上離してください

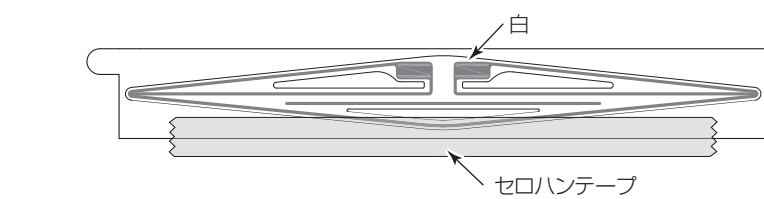
3 フィルムアンテナを貼り付ける（左右2箇所）

ご注意

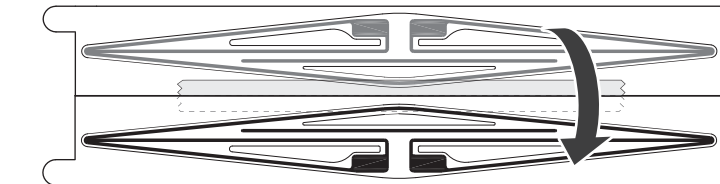
- ・ フィルムアンテナの貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンテナ自体が破損する恐れがあるためお止めください。
- ・ 本品は、ドライ貼り付けタイプとなっているため、霧吹きなどで吹き付けて貼り付けしないようにお願いします。
- ・ セパレーターをはがす前にはがす方向のエレメントの色があっているか確認してください。

- ① フィルムアンテナを貼り付ける場所の、ごみや汚れをよく拭き取る。
- ② エレメントの貼り付け位置を決め、下側をセロハンテープで図のように仮固定する。

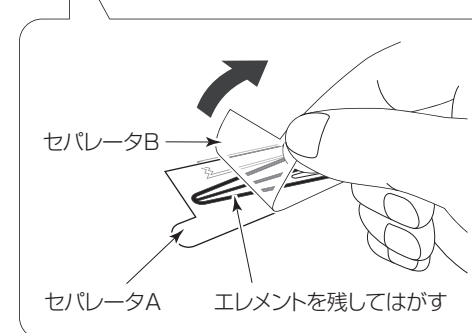
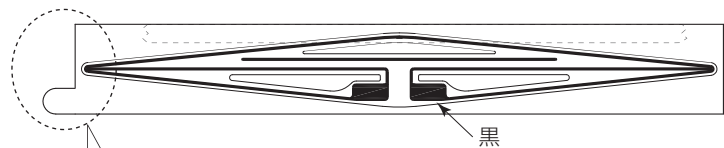
給電端子を上側にし、エレメントの端子部の白側を手前にして固定します。（※セロハンテープは市販されているものをご利用ください。）



- ③ フィルムアンテナを手前に倒す。

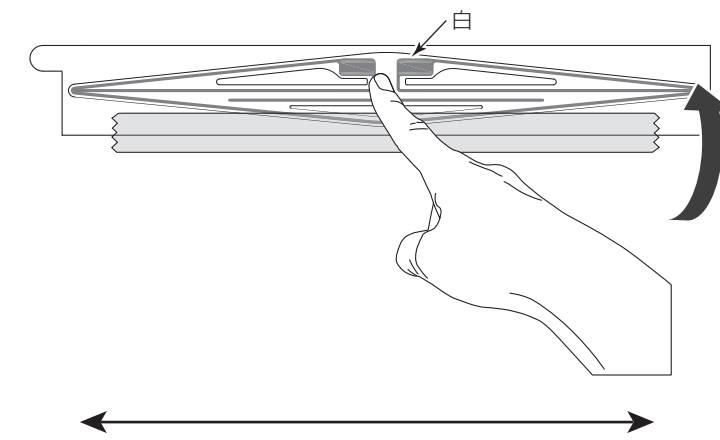


- ④ セパレーターBをはがす。

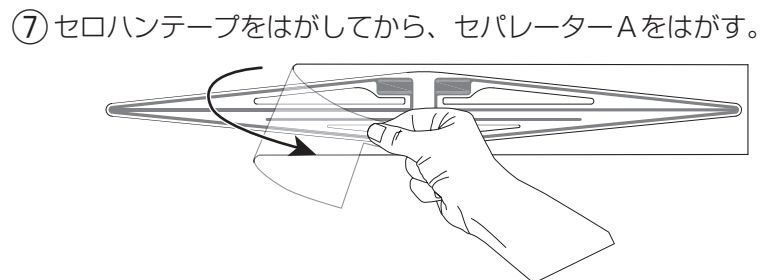


- ・ セパレーターA側にエレメントを残す様にしてセパレーターBをはがします（エレメントがセパレーターBに貼り付いたままではガラス面に貼れません）。

- ⑤ フィルムアンテナをガラス面に戻し、指でセパレーターAの上から押えつけて貼り付ける。



- ⑥ フィルムアンテナ全体をなぞるように、やわらかい布や樹脂ペラなどを使用して、ガラス面に密着させる。



ご注意

- ・ 加圧が不足しているとセパレーターAをはがす際に、エレメントがはがれたり断線する恐れがあります。また、樹脂ペラを使用する場合、エレメントを傷つけないよう十分注意して作業を行ってください。

4 アンテナケーブルのアンブ部を給電端子部に貼り付ける（左右2箇所）

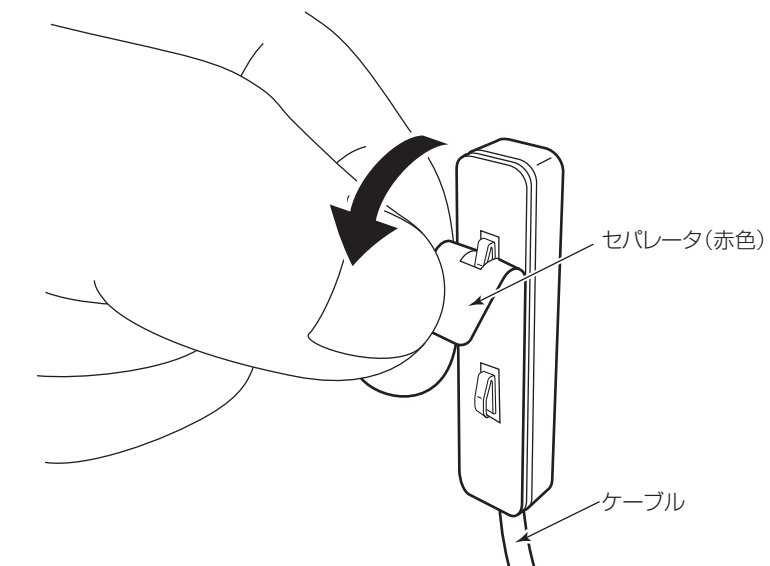
ご注意

- ・ アンブ部の貼り直しは、粘着力が弱くなる他、アンブ部が破損する恐れがあるためお止めください。

- ① アンブ部の裏面にある、セパレータ（赤色）をケーブルの反対側からゆっくりはがす。

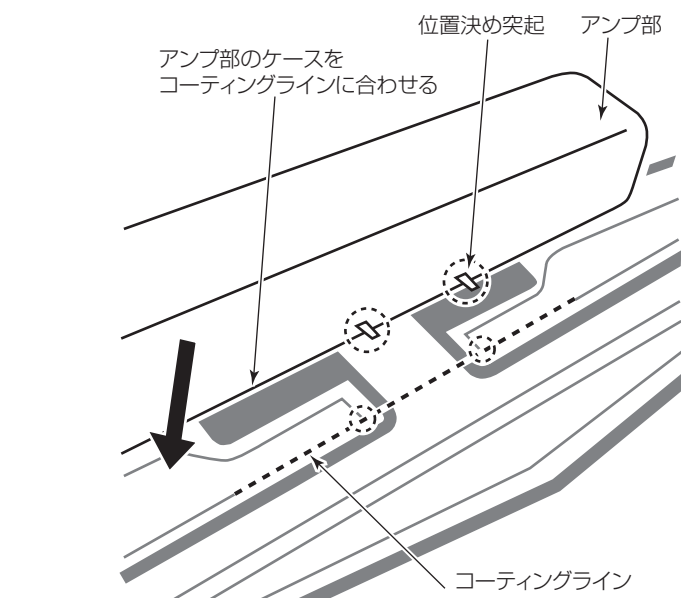
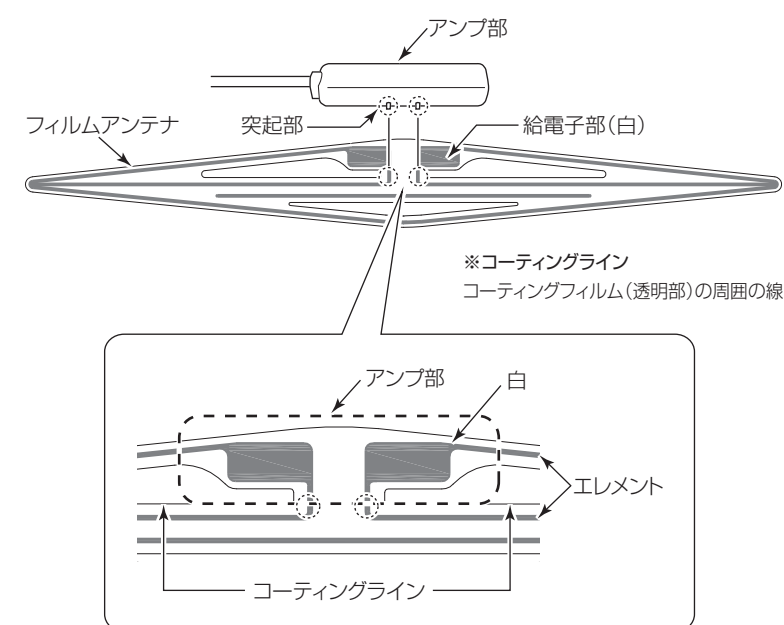
ご注意

- ・ セパレータをケーブル側からはがすと、給電端子部に負荷がかかる恐れがあります。必ずケーブルの反対側からはがしてください。



- ② フィルムアンテナ給電端子部に、アンブ部を貼り付ける。

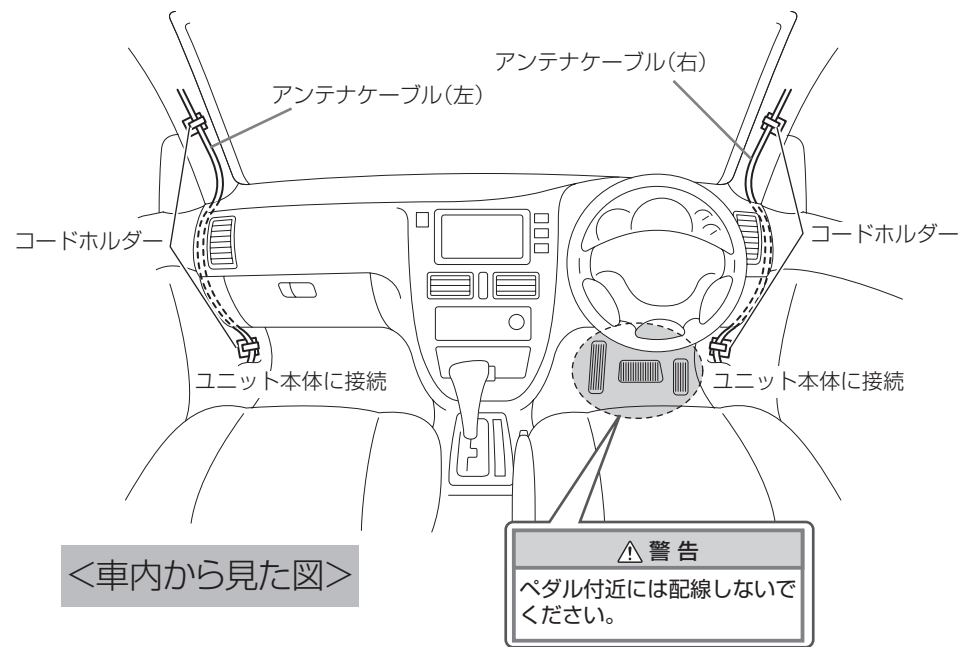
アンブ部の突起部 / ケース側面を、エレメント / コーティングラインの形状に合わせて貼り付けます。



- ③ アンブ部を指で押して、フィルムアンテナに密着させる。

5 アンテナケーブルを固定する

- ① コードホルダーでケーブルを固定し、アンテナケーブルを配線する。
 - ・ アンブ部に負荷がかからないように、アンブ部をおさえてケーブルの配線を行ってください。
 - ・ フロントピラーを取り付ける際に、コードをかみ込まない位置に配線してください。



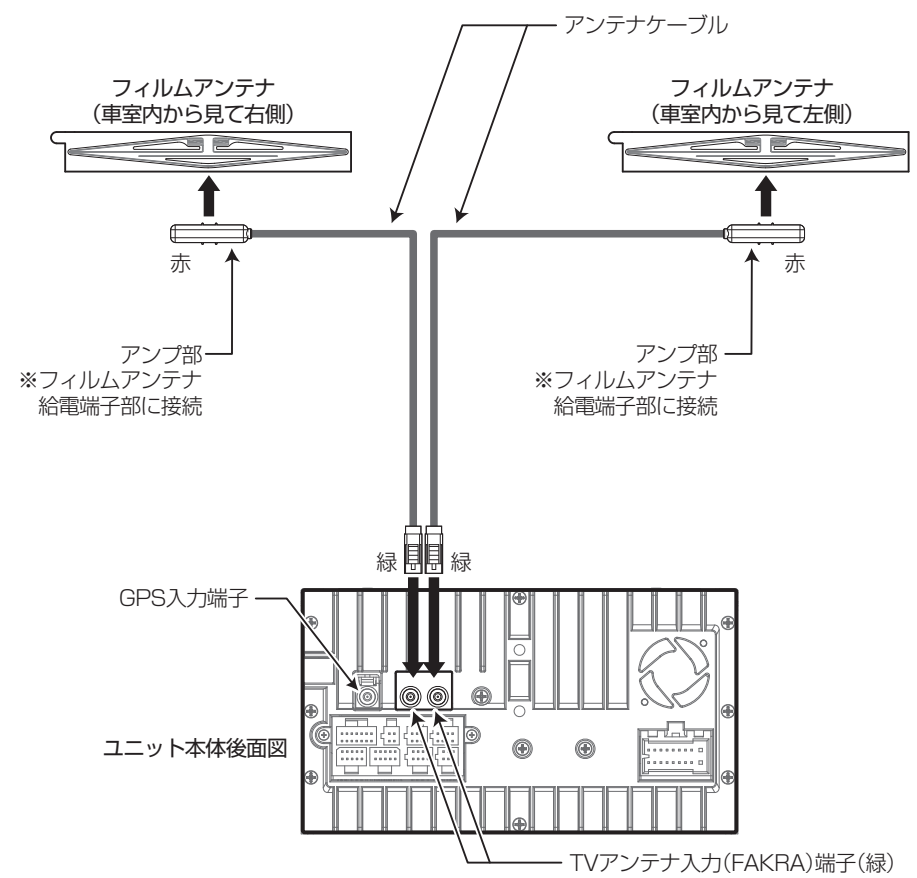
警告

- ・ 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ・ フロントピラーにエアバックが装着された車両には、エアバック動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- ・ ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がφ 14mm（曲げ R7mm）以上となるようにまとめてください。

6 ユニット本体に接続する

- ユニット本体の説明書も併せてご覧いただき正しく接続してください。

- ① アンテナケーブルをユニット本体のTV アンテナ入力端子に差し込み接続します。（2箇所）



ご注意

- ・ アンテナケーブルを GPS 入力端子に挿入しないでください。無理に挿入すると、コネクタが破損し故障の原因となります。